

## 線形代数 II 第 14 回 練習問題 (担当: 関口 良行)

所属: \_\_\_\_\_ 学籍番号: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_

**注意:** 答え合わせの際は、色ペンを使うこと.

1. 2 次形式  $f(\mathbf{x}) = 7x_1^2 - 12x_1x_2 - 2x_2^2$  について答えよ.

(1)  $f(\mathbf{x}) = \mathbf{x}^T A \mathbf{x}$  となる対称行列  $A$  を求めよ.

(解答例)  $A = \begin{bmatrix} 7 & -6 \\ -6 & -2 \end{bmatrix}$  とすると,  $f(\mathbf{x}) = \mathbf{x}^T A \mathbf{x}$ .

(2)  $A$  を  $P^{-1}AP = D$  ( $D$  は対角行列,  $P$  は直交行列) のように直交対角化せよ.  $\mathbf{x}$  を  $\mathbf{y} = P^{-1}\mathbf{x}$  変数変換することにより,  $f$  の標準形を求めよ.

(解答例) 固有値は  $-5, 10$  となり,  $P = \begin{bmatrix} 1/\sqrt{5} & 2/\sqrt{5} \\ 2/\sqrt{5} & -1/\sqrt{5} \end{bmatrix}$  おくと,  $P^{-1}AP = \begin{bmatrix} -5 & 0 \\ 0 & 10 \end{bmatrix}$  と直交対角化できる.  $P$  は直交行列より,  $P^{-1} = P^T$  なので,  $A = P \begin{bmatrix} -5 & 0 \\ 0 & 10 \end{bmatrix} P^T$  となる. したがって,  $\mathbf{y} = P^T \mathbf{x}$  と変数変換すると,

$$\begin{aligned} f(\mathbf{x}) &= \mathbf{x}^T A \mathbf{x} = \mathbf{x}^T P \begin{bmatrix} -5 & 0 \\ 0 & 10 \end{bmatrix} P^T \mathbf{x} = (\mathbf{x}^T P) \begin{bmatrix} -5 & 0 \\ 0 & 10 \end{bmatrix} (P^T \mathbf{x}) \\ &= (P^T \mathbf{x})^T \begin{bmatrix} -5 & 0 \\ 0 & 10 \end{bmatrix} (P^T \mathbf{x}) = \mathbf{y}^T \begin{bmatrix} -5 & 0 \\ 0 & 10 \end{bmatrix} \mathbf{y} = -5y_1^2 + 10y_2^2 \end{aligned}$$

となり標準型を得る.

裏へ続く

2. 対称行列を直交対角化せよ.

$$A = \begin{bmatrix} -5 & 2 & 2 \\ 2 & -2 & 4 \\ 2 & 4 & -2 \end{bmatrix}$$

(解答略) 固有値は 3, -6 (重解) となる.

3. 検算せよ.

感想・要望など